

取扱説明書


エア一式リジットラックジャッキ

NRJ-8



本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。

この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。

 **長崎ジャッキ株式会社**

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。

まえがき

このたびは、長崎ジャッキのエア式リジトラックジャッキをお買い上げいただきまして誠に有難うございます。


ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながりますので、十分理解した上で、正しく使用してください。


お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせしてください。


尚、取扱説明書及び貼付ラベルは大切に使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管又は貼付して下さい。

警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止の為に重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

 **危険**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う危険が切迫して生じる事が想定される場合。

 **警告**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う可能性が想定される場合。

 **注意**・・・取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

1.使用目的	2
2.危険・警告・注意事項	2
2-1 危険事項	2
2-2 警告事項	3
2-3 注意事項	4
2-4 ラベルの貼付位置とラベルの名称	5
3.構造及び各部の名称	5
3-1 空気孔	5
3-2 ジャッキとコンプレッサーとの取り付け	6
3-3 付属品(受台・スペーサー)	7
3-4 構造及び各部の名称	7
3-5 安全装置	8
4.使用上の注意及び使用方法	8
4-1 始業点検	8
4-2 リジトラックジャッキを使用する床条件	9
4-3 ジャッキポイント	9
4-4 使用準備	10
4-5 リジトラックジャッキの使用方法	10
4-6 終業点検と保管	14
5.定期点検	14
5-1 点検	14
5-2 可動部への給油	15
5-3 作動油の種類と交換・給油	16
6.故障と処置	17
7.仕様	18
8.製品保証規定	19

1.使用目的

このリジトラックジャッキは、自動車を上昇・下降させ、保持するためのリジトラックジャッキです。



目的以外の用途に使用しないでください。尚このジャッキは洗車作業には使用できません。

2.危険・警告・注意事項

ご使用いただく上での人身事故や車の損傷を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用してください。

2-1 危険事項

危険

	<p>操作中は車の下に立入禁止。</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷の危険性があります。</p>
	<p>車が落下しそうな時は支えないで逃げろ。</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷の危険性があります。</p>

2-2 警告事項

⚠ 警告

	<p>取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること。</p> <p>※重要な警告事項が説明されています。警告事項に従ってください。重大な事故につながります。</p>
	<p>落下防止プレートを必ず使用すること。</p> <p>※自然降下、予期せぬ降下により、死亡又は重傷の可能性あります。</p>
	<p>純正アタッチメント以外の使用禁止。</p> <p>※外れ破損等により車が落下し、死亡又は重傷の可能性あります。</p>
	<p>偏荷重での使用禁止。</p> <p>※車がアタッチメントから外れ落下し、死亡又は重傷の可能性あります。</p>
	<p>傾斜地や軟弱な土間での使用禁止。</p> <p>※ジャッキが傾き車の落下による死亡や重傷の可能性あります。</p>
	<p>リフトアップした車を大きく揺らさない。</p> <p>※車が落下し、死亡又は重傷の可能性あります。</p>
	<p>操作は、操作方法を熟知した人以外使用禁止。</p> <p>※誤った操作方法が原因で事故が発生します。</p>
	<p>上昇後、作業中は車輪の前後に車止めを使用すること。</p> <p>※車が移動して受台のセットが外れ、車が落下し、死亡又は重傷の可能性あります。</p>

2-3 注意事項



一般的な注意事項

- 1.使用目的以外の使用禁止。
- 2.安全弁(安全装置)を絶対に調整や改造をしないこと。
- 3.自動車整備以外での使用禁止。
- 4.能力以上の使用禁止。
- 5.保管場所はシリンダーを最低位まで下げ、人や車にぶつからない屋内に保管のこと。
- 6.リジトラックジャッキの改造は禁止。
- 7.洗車作業での使用禁止。
- 8.オイルは弊社指定のジャッキオイルを使用のこと。重粘度のオイル、ブレーキオイル等は絶対に使用しないこと。
- 9.指定のエア圧で使用のこと。

使用上の注意

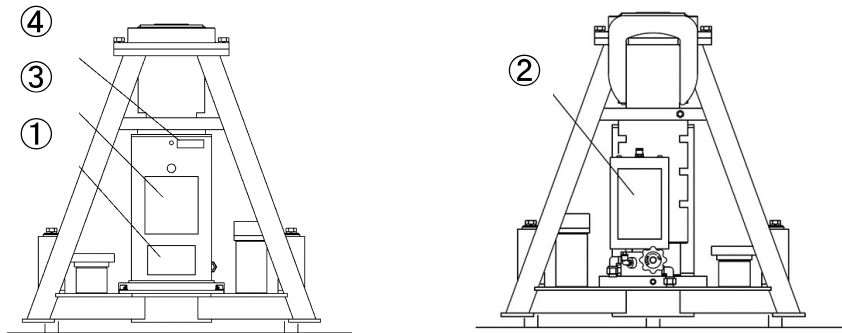
- 1.作業前に必ず始業点検を行うこと。
- 2.自動車メーカーが指定するジャッキポイント以外では支持しないこと。
- 3.昇降操作は、左右のリジトラックジャッキの高さ又は車の平行を保ちながら必ず行うこと。
- 4.昇降中は、車のブレーキ及び車止めを必ず外した状態で使用すること。
- 5.リジトラックジャッキの昇降操作中は車の状態に注意し、わき見運転は絶対禁止。
- 6.荷物や人を載せたままでの使用禁止。
- 7.車の昇降時には、他の人を車に近付けたり、リジトラックジャッキや車に触れさせないこと。
- 8.リジトラックジャッキ(2台・4台使用時)は同じ高さにして車を保持すること。
- 9.必ずリジトラックジャッキ2台セットで使用すること。
- 10.リジトラックジャッキ装着後、必ず安全状態を確認してから作業にかかること。
- 11.エンジンをかけたままの使用禁止。
- 12.車を上昇させたまま放置しないこと。

操作上の注意

- 1.受台はジャッキポイントに確実にセットすること。
- 2.受台の中心に負荷すること。
- 3.偏荷重での使用禁止。
- 4.車の前後にリジトラックジャッキを使用する場合は、車を数回に分けて前後を交互に上げること。

2-4 ラベルの貼付位置とラベルの名称

①	型式・能カラベル
②	警告ラベル
③	注意ラベル
④	空気孔ラベル



⚠ 注意

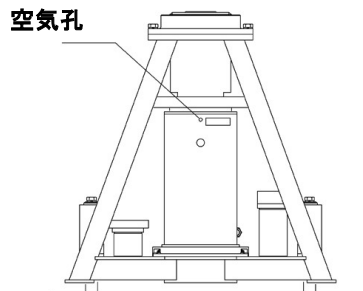
ラベルは大切に使用して下さい。はがれや汚損された場合は、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

3 構造及び各部の名称

3-1 空気孔

ご使用にあたり、必ず空気孔のネジを緩めてからご使用ください。

※ご購入時は輸送中のオイル漏れを防止する為、空気孔のネジは締まっています。

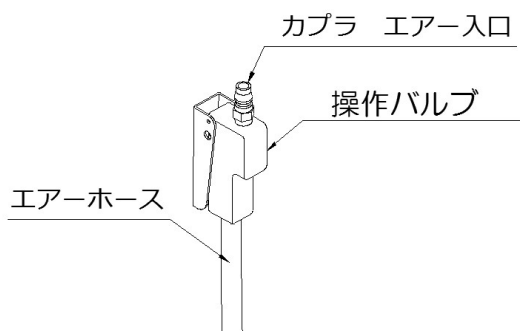


⚠ 注意

空気孔のネジを緩めないで使用しますと、オイルの吸い込みが悪くなり、上昇不良の原因となります。

3-2 リジットラックジャッキとコンプレッサーとの取り付け

- 1.操作バルブのエアの入り口(エア入口)にはカプラプラグが取り付けられています。適合するカプラソケットをコンプレッサーからのエアホースに取り付け、接続してください。
- 2.コンプレッサーからリジットラックジャッキまでのエアホースの長さは可能な限り短くしてください。また、内径 8.0mm 以上のホースを使用してください。



⚠ 注意

- 1.コンプレッサーと操作バルブをつなぐホースは、必要以上に長くしないでください。圧力の低下につながります。
- 2.コンプレッサー配管出口は、必ずレギュレーター、エアフィルター、オイルを取付けてください。
- 3.必ず 0.7~0.96MPa(7~9.6kgf/cm²)の圧力にレギュレーターで調整し、使用してください。
- 4.コンプレッサーの所要動力 2.2kW 以上を使用してください。
- 5.車の下で上昇操作を行わないでください。エアホースの長さが足りない場合は継ぎ足して、車外で操作が出来る長さに調整してください。

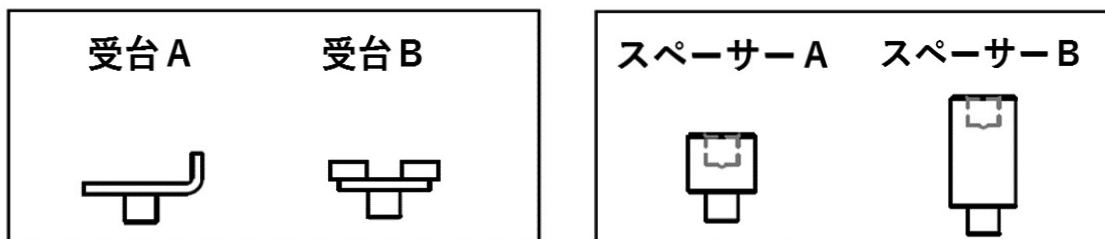
3-3 付属品(受台、スペーサー)

①受台(2種類)

ジャッキアップする車のジャッキポイントに合わせて、シリンダー部に装着して使用します。

②スペーサー(2種類)

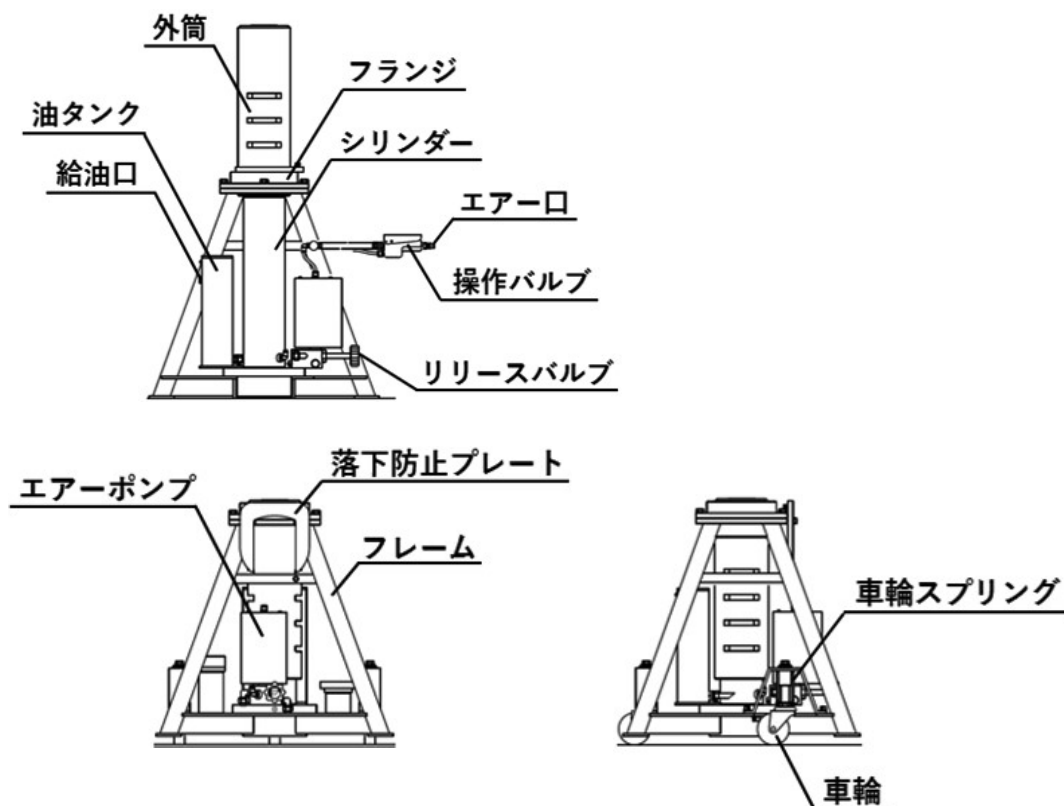
高い位置で使用したいときに、受台にセットするアタッチメントです。



⚠ 注意

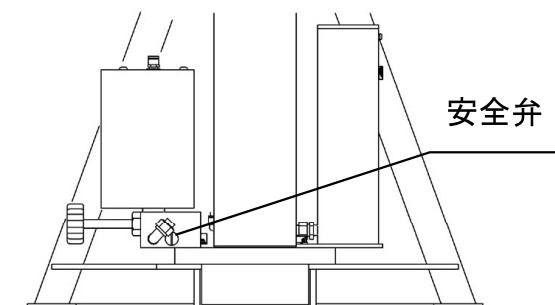
スペーサーA、Bを重ねて使用しないでください。リジトラックジャッキがバランスを崩し、車が倒れる危険性があります。

3-4 構造及び各部の名称



3-5 安全装置

安全弁(安全装置)は、リジトラックジャッキの能力を越える車を上昇させようとした時、また、何らかのトラブルで油圧力が異常に上昇した時に油圧を逃がしてジャッキの破損や事故を防止するものです。



警告

安全弁(安全装置)の調整や改造は絶対にしないでください。安全弁(安全装置)が作動しないで、重大な事故につながります。

4.使用上の注意及び使用方法

警告

このリジトラックジャッキの操作は、使用方法を熟知した人以外使用しないこと。

4-1 始業点検

毎日作業前に必ず始業点検を行ってください。なお点検はリジトラックジャッキに車を載せない状態で行ってください。

注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常個所の修復を完全に行うまでリジトラックジャッキの使用を禁止して、直ちに販売会社まで連絡してください。そのままお使いになられますとリジトラックジャッキの破損及び重大な事故につながる危険があります。

※7 ページの各部の名称を参照してください。

点検箇所	内容	点検方法
落下防止プレート	変形、破損、磨耗していないか	目視
車輪	・スムーズに回転するか ・各部に変形、破損、磨耗はないか	目視
油圧シリンダー部	・上昇下降を行った時、円滑に作動するか ・異音はないか ・油漏れはないか	目視・聴取
フレーム部	変形、破損、溶接の外れはないか	目視
各ネジ部(ボルト及びナット部)	変形、破損、弛みはないか	目視
リジトラックジャッキ全体部	変形、破損等異常はないか	目視

注意

- 1.増し締めを行う場合は取扱説明書 18 ページの表ネジの締め付けトルク欄を目安に増し締めを行って下さい。
- 2.リジトラックジャッキのシリンダー本体部は増し締めを行わないで下さい。増し締めを行う場合はお買い上げの販売会社へ連絡して下さい。

4-2 リジトラックジャッキを使用する床条件

警告

傾斜地や軟弱な土間では使用しないでください。リジトラックジャッキが傾き、受台が外れ、車の落下による死亡や重傷の危険があります。又、傾斜地ですと、車が動き出して重大な事故になります。必ず、平坦な硬い床で使用してください。

4-3 ジャッキポイント

注意

車を支持する場合は、自動車メーカーが指定するガレージジャッキポイント(以後ジャッキポイントと言う)とし、他の部分で支持しないで下さい。車の変形・荷重バランスの悪化により重大な事故につながります。

4-4 使用準備

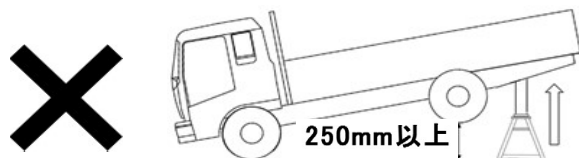
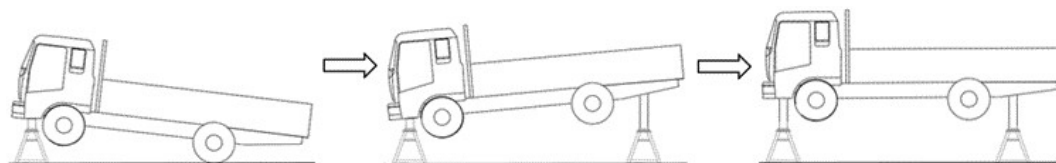
⚠ 注意

昇降時、車が前後に移動するためサイドブレーキ及び車止めは必ず外した状態で使用してください。

4-5 リジトラックジャッキの使用方法

(1) リジトラックジャッキの上昇操作時の注意点

- 車の前後にリジトラックジャッキをかける場合は、車を数回にわけて前後を交互に上げて下さい。

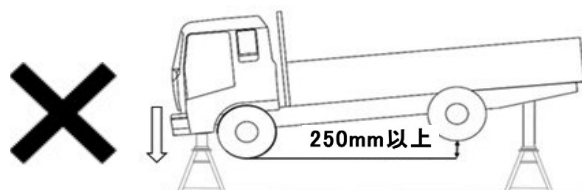
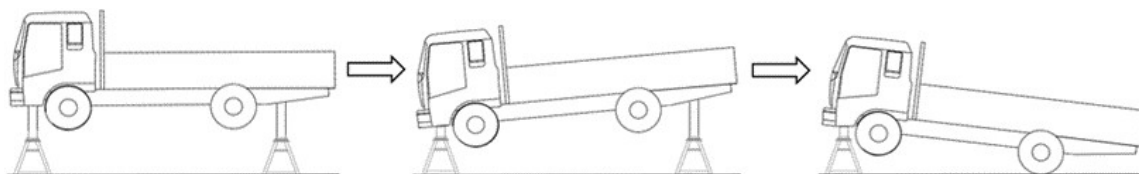


⚠ 危険

車を高く(250mm 以上又は車体角度 7° 以上)一気に上げないでください。それ以上上昇させますとリジトラックジャッキとの角度がつきすぎて、受台から外れる場合があります。

(2) リジトラックジャッキの下降操作時の注意点

- リジトラックジャッキを上昇操作した手順と逆方法でリジトラックジャッキをはずしてください。必ず車を数回にわけて前後を交互に下げてください。



⚠ 危険

車を一気に(250mm 以上又は車体角度 7° 以上)に下げないでください。
車のずれ量が大きくなり、リジトラックジャッキが倒れる場合があります。

(3)リジットラックジャッキの上昇操作

注意

必ずリジットラックジャッキ 2 台セットで使用してください。

- ①自動車メーカーが指定するジャッキポイントの真下に受台がくるようにリジットラックジャッキをセットしてください。
- ②コンプレッサーからのエアホースを、操作バルブのカプラに接続します。
- ③リリースバルブを時計回りに止まるまで回転させます。
- ④操作バルブを握ればリジットラックジャッキが上昇します。操作バルブを放すと停止します。
- ⑤受台がジャッキポイントに当たった時点で一旦停止させ、正しいジャッキポイントにセットされていることを確認してください。もし合っていないければ、リリースバルブを緩め(反時計回り)一旦下降させ正しいジャッキポイントにセットしてください。
- ⑥2 台のリジットラックジャッキの受台が確実にかかっていることを確認してください。
- ⑦左右 2 台のリジットラックジャッキを同時に上昇させてください。
- ⑧上昇・停止操作を繰り返し、左右のリジットラックジャッキを同じ高さ又は車の平行を保ちながら必ず上昇させてください。
- ⑨目的の高さに達したら停止させてください。

危険

- 1.操作中は車の下に立ち入らないでください。車が落下し、死亡又は重傷の可能性があります。
- 2.車が落下しそうな時は支えずに逃げてください。車が落下し、死亡又は重傷の可能性があります。

⚠ 注意

1. わき見をしながらの操作はしないでください。重大な事故につながります。
2. 荷物や人を載せたまま使用しないでください。偏荷重で車がバランスを崩し、落下する危険性があります。
3. 能力を越える車は、ジャッキアップしないでください。ジャッキの損傷につながります。
4. エアーホースの長さが短く、車の下で操作しなければならない場合は、車外で操作が出来る長さ
にエアーホースを調整してください。
5. 受台の中心に負荷してください。受台が外れ、車が落下する危険性があります。
6. 車の昇降時には、他の人を車に近付けたり、リジトラックジャッキや車に触れさせないでください。車がバランスを崩し落下する危険性があります。
7. 上昇・停止操作を繰り返し、左右のリジトラックジャッキを同じ高さ又は車の平行を保ちながら
上昇させてください。
8. リジトラックジャッキを4台使用し車の前後にリジトラックジャッキをかける場合は、車を2～3
回に分けて前後を交互にあげてください。片側を高く上げた状態でもう一方を上げますと車が傾
き落下する危険性があります。
9. 最高位に達したら、上昇操作は直ちに停止してください。必要以上の操作はリジトラックジャ
ッキの損傷につながります。

(4) 車の保持

- ① 上昇後、落下防止プレートが外筒に差し込める高さかを確認してください。
- ② 差し込めない場合は、最少量の上昇又は最少量の下降をさせ差し込めれる高さに調整してくだ
さい。
- ③ 落下防止プレートを奥まで確実に差し込んでください。
- ④ リリースバルブを2台同時にゆっくりと緩め落下防止プレートがフランジに当たるまで下降させ
てください。
- ⑤ 確実に落下防止プレートがセットされていることを確認後、リリースバルブを締めてください。
- ⑥ 車輪の前後に車止めを使用してください。
- ⑦ 操作バルブからエアーホースを外してください。

警告

- 1.必ず落下防止プレートを使用してください。自然降下により、死亡又は重傷の可能性があります。
- 2.純正のアタッチメント以外は使用しないでください。外れ、破損等により車が落下し、死亡又は重傷の可能性があります。
- 3.偏荷重での使用はしないでください。車が受台から外れ落下し、死亡又は重傷の可能性があります。
- 4.ジャッキアップした車を大きく揺らさないでください。車が落下し、死亡又は重傷の可能性があります。
- 5.車輪の前後に車止めを使用すること。車が移動して受台のセットが外れ、車が落下し、死亡又は重傷の可能性があります。

注意

1. リジトラックジャッキ(2台・4台使用時)は必ず同じ高さにして車を保持してください。車がバランスを崩し落下する危険性があります。
2. 作業はリジトラックジャッキ装着後、安全状態を確認してから行ってください。重大な事故につながる危険性があります。
3. 車両を上昇させたまま放置しないでください。

(5)リジトラックジャッキの下降操作

- ①車止めを外します。
- ②コンプレッサーからのエアーホースを操作バルブのカプラに接続します。
- ③落下防止プレートを外せる高さに最少量上昇させてください。
- ④落下防止プレートを外してください。
- ⑤2台のリジトラックジャッキのリリースバルブを同時にゆっくりと緩めてください。
- ⑥左右のリジトラックジャッキの高さ又は車の平行を保ちながらゆっくり下降させてください。
- ⑦リジトラックジャッキを最低位まで下げ、車から抜き出してください。

⚠ 注意

- 1.リリースバルブは必ずゆっくり回してください。早く回しますと車は急激に下降し、ジャッキポイントが外れたりする場合があります、重大な事故につながる危険性があります。必ず左右のリジットラックジャッキの高さ又は車の平行を保ちながら、ゆっくり下降させてください。
- 2.必ずエアホースを接続した状態で下降操作を行ってください。エアホースを接続しないと、無負荷時では下降しません。

4-6 終業点検と保管

作業が終了したら受台やフレーム部等に付着したゴミ、オイル、グリース等をきれいに拭き取ってください。リジットラックジャッキ本体に異常が発見された場合、直ちに販売会社にご連絡していただき処置してください。又、安全のため受台を最低位置まで下げて屋内に保管してください。

⚠ 注意

必ずシリンダーを最低位まで下げ、人や物にぶつからない屋内に保管してください。

5.定期点検

5-1 点検

安全に使用して頂く為に、必ず定期点検を実施してください。

点検期間	点検箇所	点検項目	点検方法	保守要領
2 週間	受台 フレーム 外筒 フランジ	・破損、変形、磨耗	目視	・破損、変形、著しい磨耗は交換
	スプリング付車輪	・破損、変形、磨耗 ・回転はスムーズか	目視	・破損、変形、著しい磨耗は交換 ・給油
	油圧シリンダー部	・油漏れ、破損、変形、	目視	修理
	エアポンプ部	・エア漏れ、破損、変形	目視	修理
	チューブ 操作バルブ	・エア漏れ、破損、変形	目視	交換、修理

	落下防止プレート	・破損、変形、磨耗	目視	破損、変形、著しい磨耗は交換
	各ネジ部	・破損、変形、緩み	目視	・緩みは増し締め ・破損、変形は交換
	止めリング 割りピン	・変形、破損、外れ	目視	・外れは組み直す ・破損、変形は交換
3ヶ月	油圧シリンダ一部	作動油量の確認	目視	不足分の給油
12ヶ月	油圧シリンダ一部	作動油量の確認	目視	作動油の交換

⚠ 注意

- 1.2 週間に1度はエア操作で外筒を上下させてください。長時間リジトラックジャッキを使用しない場合エアポンプ側(ピストン部)から油が抜け、使用時にエアを吸い込み外筒が上がらないことがあります。
- 2.カバー等を外して点検した後は、必ず元通りすべてを取り付け、復元をしてください。
- 3.点検の結果、異常が発見された場合には、直ちにリジトラックジャッキの使用を禁止して、お買い上げ販売会社へ連絡していただき、処置を受けてください。
- 4.増し締めを行う場合は 18 ページ表のネジの締め付けトルクを参考に増し締めを行ってください。

5-2 可動部への給油

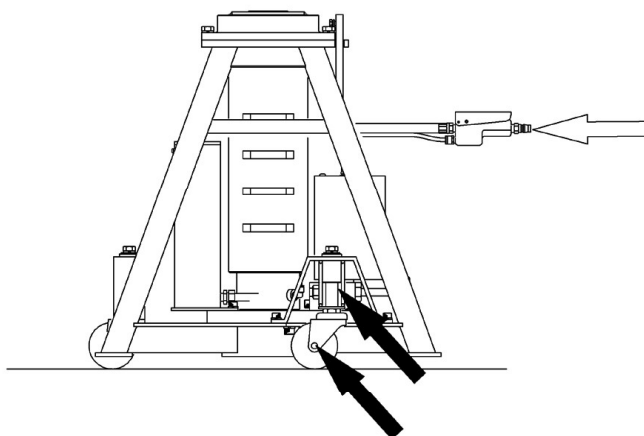
マシン油 : エア操作バルブのエア口(カプラ)より注油してください。

グリース : スプレー式グリース等、浸透性の良いグリースを使用してください。

※2週間に1度以上行なってください。

➡ マシン油給油箇所

➡ グリース給油箇所



⚠ 注意

操作バルブのエアー口(カプラ)への注油は2週間に1度行ってください。エアーポンプ内の油分が切れると、エアーポンプの速度低下や作動不良につながります。

5-3 作動油の種類と交換・給油

作動油の交換

初回の作動油交換は、3ヶ月経過した時点で行ってください。次回からは12ヶ月点検時に行ってください。

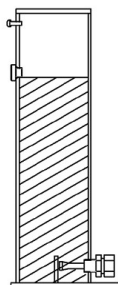
⚠ 注意

- 1.給油・交換用のジャッキオイルは、弊社指定ジャッキオイル、又は下記に示すオイルを使用してください。
- 2.重粘度のオイル・ブレーキオイル・揮発性のオイル・植物性オイル等は絶対に使用しないでください。パッキン・ガスケットの機能が低下し自然降下の原因となります。

給油量

NRJ-8 2,000CC

作動油の給油
給油口のいっぱい
まで給油して
ください。



作動油の種類

メーカー名	作動油名
JX 日鉱日石エネルギー	ハイランドワイド 15
コスモ	コスモハイドロ HV15K
昭和シェル	シェルテラス S2V15
モービル	モービル DTE10Excel15

⚠ 注意

- 1.給油は必ず外筒を最低位置まで下げた状態で行ってください。
- 2.油を入れ過ぎますと上昇速度低下の原因となります。

【エア抜き手順作業】(オイル交換した場合や油量が少なくなりエアを吸込んだ場合)

- ① 外筒が最低位置で空気孔のネジが緩んでいるか確認してください。
- ② リリースバルブを締め、2~3回無負荷で最高位まで昇降させてください。
- ③ 外筒を最低位まで下げてください。

6.故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合はお買い上げの販売会社へ相談してください。

症状	原因	処置
全然上がらない	①リリースバルブが完全に閉まっていない。 ②ジャッキオイルが入っていない。	①リリースバルブを確実に閉める。 ②ジャッキオイルを補給する。(※1)
途中までしか上がらない	ジャッキオイルが不足している。	・ジャッキオイルを補給する。(※1) ・エア抜き作業を行う。(※2)
自然降下する	①リリースバルブが完全に閉まっていない。 ②落下防止プレートが差し込まれていない。	①リリースバルブを確実に閉める。 ②落下防止プレートを差し込む。
エアポンプが作動しない	①エア圧力が不足又は過多である。 ②エアポンプ内に油分が無くなり、摩擦が大きくなっている。(油切れ状態)	エア圧力を適正な値にする。 エアロより油を少量注油する。
落下防止プレートが解除できない	落下防止プレートがフランジに接面している。	落下防止プレートが解除できる位置までシリンダーを上昇させ引き抜く。
操作バルブを握っていないのに上昇する	操作バルブの異常	操作バルブの交換

※1 16 ページの 5-3 作動油の種類と交換・給油をご参照ください。

※2 16 ページのエア抜き作業手順をご参照ください。

参考:ねじ締付トルク ※ジャッキのシリンダー本体部は増し締めをしないで販売会社へ連絡してください

ねじの締付トルクについては、建築用高力ボルト以外に JIS でははっきりと定められていません。はめ合いの硬さ加減や接触面のすべり具合の状態から数値を示すことは至難であります。目安が何も無い事は現場において不安であり、不便でもあるので、参考までに下記に示します。

ねじの呼び	普通のボルト	六角穴付ボルト・高張力ボルト
強度区分	4.8	12.9
M8×1.25	12.3 N・m	38.5 N・m
M10×1.5	24.4 N・m	76.4 N・m
M12×1.75	42.5 N・m	133.3 N・m
M16×2.0	105.7 N・m	331.0 N・m
M18×2.5	145.5 N・m	455.5 N・m
M20×2.5	206.3 N・m	645.8 N・m
M24×3.0	356.7 N・m	1116.7 N・m
M30×3.5	708.7 N・m	2218.4 N・m

7.仕様

型式	NRJ-8
能力 (ton)	8
無負荷時最低位 (mm)	589
揚程 (mm)	360
負荷時最高位 (mm)	929
車輪上昇量 (mm)	20
外寸法 (mm)	W560×D560×H580
操作方法	エア駆動
安全装置 (落下防止)	落下防止プレート
使用圧 (Mpa)	0.7~0.96
車輪径 (φ)	75
重量 (kg)	102

8.製品保証規定

1)保証規定

取扱説明書、本体注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内(納入後一年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理させていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しておりません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- 5.指定された純正部品を使用されなかった時に起因する場合。
- 6.日本国外で使用される場合。
- 7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がない場合など)。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然損耗する部品、ならびに消耗部品につきましては、保証の適用は除外させていただきます。

注意

このリジトラックジャッキは防水仕様になっておりませんので、錆、腐食等の水による故障は保証いたしておりません。

(2)保証請求方法

前記の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご承知ください。

(3)アフターサービスについて

- 1.調子が悪い時.....まずこの取扱説明書の[6.故障と処置]の項目をもう一度ご覧になって調べてください。
- 2.それでも調子が悪い時は.....商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理依頼をしてください。

3.保証期間中の修理について・・・保証期間は納入後 12 ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。

4.保証期間後の修理について・・・有償で対応させていただきます。

5.アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせください。

6.お問い合わせ頂く場合は、次の事柄をお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)

上記事項を下表に必ず記載してください。

型式	
機体番号	
購入年月日	年 月 日
購入店名	社名： 担当者： 住所： 電 話：
故障日・状況	年 月 日
故障日・状況	年 月 日

—MEMO—

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡してください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854

愛知県碧南市須磨町5番地2

TEL 0566-41-1482

FAX 0566-42-0709